

平成25年度第2回花巻市立図書館協議会 会議録

1 期 日 平成25年11月27日(水) 午前10時～正午

2 場 所 花巻図書館 1階会議室

3 出席者

(1) 協議会委員

阿部 祐基委員、和田 政男委員、市川 浜委員、藤原 くに子委員、
佐々木 さつき委員、日下 明久美委員、坂本 知彌委員、
白藤 祐三委員、阿部 善郎委員(計9名)

(2) 事務局

花巻図書館長 藤原 宏康、大迫図書館長 鎌田 仁、石鳥谷図書館長 小原
茂隆、東和図書館長(花巻図書館長兼務)、花巻図書館副館長 佐藤純一、
花巻図書館業務係長 吉田 郁子、石鳥谷図書館上席主任 菊池 桂、東和図
書館副主任主査 菅野 和

4 欠席委員 門馬 優子委員、晴山 美紀子委員、折居 健委員(3名)

5 傍聴者 1名

6 会議の概要

・会議成立の報告(佐藤花巻図書館副館長)

12名中9名出席。出席委員が構成員の過半数を超えているので、図書館協議
会規則第7条により成立することを報告

(1) 開 会(佐藤花巻図書館副館長)

ただ今から、平成25年度第2回花巻市立図書館協議会を開会いたします。よろしくお願
いいたします。

(2) 会長あいさつ(坂本 知彌会長)

皆様おはようございます。11月は読書週間で、本に親しむにはいい季節ですが、活字離れに
より、秋の夜長が読書に結びつかないこの頃です。どうしたらより多くの市民の方々が図書館を
利用いただけるのか、皆様のお知恵を拝借したいと思います。

(3) 議 事(図書館協議会規則第6条により坂本会長が議長となる。)

1 報 告 平成25年度上半期事業実施状況について

○事業実施状況を藤原花巻図書館長から説明

日頃の委員のご協力に感謝。

図書館業務は、通常の図書館運営のほか、読書推進事業、視聴覚教育に関する事業の大きな2
本立ての事業となっている。読書推進事業では、ブックスタート及びブックスタートプラス、読
み聞かせ、こども読書くらぶの3本立てで事業を実施してきている。

①資料1-1 読み聞かせ

資料に基づき、各4館の実施状況について説明

- ・ 読み聞かせ事業は、読書推進の大きな柱で、乳幼児から小学校低学年を対象にボランティアの方々の多大なご協力をいただいで実施している。
- ・ 上半期の図書館全体の参加者の合計は886人で、前年同期に比べ人数が減少している。要因は、少子化による全体数の減少や小学校のカリキュラム等の忙しさで参加できない等が考えられる。
- ・ 来年度参加しやすい日程等を検討していく。

②資料1-2 ブックスタート

資料に基づき、各4館の実施状況について説明

- ・ 乳幼児の絵本を通じたふれあい、家族ぐるみでの読書習慣を図ることを目的に実施している。

③資料1-3 ブックスタートプラス

資料に基づき、各4館の実施状況について説明

【質 疑】

(坂本 知彌会長)

ただ今、説明のありました読み聞かせ、ブックスタート、ブックスタートプラスに関して、ご質問等ありませんか。

(日下 明久美委員)

ブックスタートで、最終的に取りに来なかったことはありますか。

(吉田業務係長)

はい。

(日下 明久美委員)

対象者だけれど、貰った人と、貰わない人とが発生するということですか。

(坂本 知彌会長)

周知はどうなっているのでしょうか。ブックスタートの案内は付いているのですか。

(吉田業務係長)

保健センターから連絡する時に一緒に案内をしています。健診に来なかった方には、未健診者のためのフォローアップ事業を実施し、事業に参加いただくよう未健診者に案内を出しています。また、保健センターや図書館では、いつでもブックスタートの趣旨を説明できるような体制をとっております。

(坂本 知彌会長)

貰っていない人は、健診には来ていますか。

(吉田業務係長)

確認はしていませんが、貰っていない人は健診にも来ていないと思います。健診に来ている人には、すべてに絵本をプレゼントしています。

(坂本 知彌会長)

11月は児童虐待防止月間です。健診に来ないと児童虐待につながるという報道もございません。その辺も掘り下げて何かいい案はないのでしょうか。

(吉田業務係長)

健診に来ない人には、保健師さんが自宅訪問をしているようです。

(藤原花巻図書館長)

補足いたします。今、予算の時期でもあり、来年度の事業を再検討しております。ブックスタートにつきましては、今年度まで11か月児の育児学級の時に実施しておりましたが、保健センターと協議をしまして、来年度から4か月児を対象に考えております。理由としましては、4か月児だと走り回ったりせず、お母さんたちが落ち着いて読み聞かせ等の話を聞いていただけると考えております。保健センターでも早いほうが良いとの意見を伺っております。

(坂本 知彌会長)

進歩ですね。最初のブックスタートの時は、保健センターとの話で時間がうまくとれないということでしたと入っていけなかったですが、認められたのですね。うれしいことです。じっくり検討いただいて、多くの子ども達に絵本が渡れば良いと思います。

それでは、続いての説明をお願いします。

④資料1-4 平成25年度こども読書くらぶ

今年度の11月10日までの実施状況とその後の実施予定を資料に基づき説明

- ・ こども読書くらぶは、今年度が2年目で、「はたらく」をテーマにジョブカフェはなまきの協力をいただきながら実施している。

【質 疑】

(坂本 知彌会長)

ただいまのこども読書くらぶ活動事業の説明について、ご質問等があればお願いします。

(阿部 善郎委員)

こども読書くらぶの活動状況について、本を見て頭に入っている状況などを、実際現場で体験し、話を聞くことは子ども達にとって知識として得るものが多く、確実ではないかと思う。大いに企画していただききたい。職場を訪ね、実際に現場を見ることは、本だけでなくイメージを感じることができ、学習の向上が見られると思う。

(坂本 知彌会長)

実際に現場を体験することが大事だというご意見をいただきました。楽しいみたいですね。参加している子ども達は楽しいと言っているようですので、お友達を誘って、次につながれば良いと思います。

(阿部 善郎委員)

参加した子どもの表情がどうだったかをお聞きしたい。

(藤原花巻図書館長)

私は、全部行ったわけではありませんが、例えば、犬の介助犬の関係では犬の行動に感心しながら、こういう仕事があるということを実際に見るのとただテレビで見るとでは違った感じを受けたようです。私たちの狙いは、より深く調べたいということを図書館に来て本で調べ、深めてもらうことがこちらの目的でもあります。また、読み聞かせについても、読み聞かせをしてもらう方から読み聞かせをする立場になってもらい、大変さを理解してもらったと感じております。そして、そのような場を通して読み聞かせの楽しさを感じてもらえれば、絵本にも目が向いていくのではと考えております。図書館としては、これからもきっかけづくりの場面

を提供していきたいと考えていますし、子ども達も楽しく参加してもらっていると思っております。

(日下 明久美委員)

このこども読書クラブは、想像以上に良い事業で、来年度も期待しています。子ども達は、自分の興味のあることにしか関心を持たないので、もっと膨らみをもって実施していただければと思います。

(坂本 知彌会長)

講師の佐賀さんは、点字にも関わっておりますので、点字の本にも触れる機会があればよかったなと思っております。福祉センターには点字の本や辞書がありますが、一般の本や辞書と見比べたり、点字を学べば、目の不自由な方の大変さが、より広がりのあるものとして体験できたのではないかと考えます。時間の関係もあると思いますが、もう少し深くして行ってほしいと思います。

(藤原 くに子委員)

とても内容のある素晴らしい事業だと感じております。最近の子ども達は流行りのものに流れていく傾向にあるように感じていますが、どのような子ども達が参加しているのでしょうか。親の働きかけによるものか、自主的に参加をしているのかをお聞きいたします

(吉田業務係長)

小学校、中学校、高校に周知をしていますので、自主的に参加している子どもさんもいると思いますが、小学校低学年の子どもが多いので、親の方がいい事業ということで参加させているのもあると思います。低学年の子は、親と一緒に参加されますが、その時兄弟も一緒に参加し、図書館に来てこつこつ学習で本を探したりして、家族で学習してる様子も見受けられますので、そのようなことが読書でのきっかけにつながっているのではと考えております。

(坂本 知彌会長)

本当のゆとりの教育ですね。家の方がゆったりと構えて、子どもと過ごす時間があるということはいいことですね。

(和田 政男委員)

中学生は、クラブ活動で土日のほとんどが取られ、いい活動だと思うが参加ができない状況となっています。活動内容を見ますと、どこの学校でも読書活動の推進に取り組んでいる内容のもので、キャリア教育のような感じがしますね。たとえば、盲導犬の活動などは、そのまま学校でも授業に取り入れたいような内容のものです。学校がこども読書クラブとタイアップできれば、また違った活動になるのではと思います。土日の活動に参加できない子ども達も、学校の事業として学校でできないかというように投げかけてもらえれば、学校としても貴重な体験をさせることができるのかなと考えたところです。

(坂本 知彌会長)

なんか広がりが見えたような気がします。

2 諮問 平成26年度花巻市こども読書クラブ事業(案)について

○来年度について資料に基づき、藤原花巻図書館長から説明

来年度事業は、今年度の反省点を踏まえ計画していく。来年度のテーマは「しごと」で活動し

たい。また、図書館を身近に感じてもらえるよう事業に取り入れていく予定である。

【質 疑】

(坂本 知彌会長)

広がりをもって、図書館を身近に感じてもらいたいという裏テーマをもとに、「しごと」を表テーマとして来年度のこども読書くらぶの活動計画の案の説明をいただきました。このことについて、ご意見、ご質問がありましたならば、お願いいたします。

(阿部 祐基委員)

学校教育の立場から、情報提供したいと思います。今年の夏ごろに土曜授業が復活するとの情報が入りました。新聞にも載りましたが、3年後には全国の学校で土曜授業が完全実施で復活する。それに向けて来年度から全国4,000校を指定校として土曜授業を実施するようですが、それ以後の具体的な運用が何もないようです。ただ、来年度4,000校で実施されますので、花巻市内でも何校かは実施されると思います。まだ、文部科学省段階のようですのではっきりしたことは言えないのですが、実施されますと社会教育事業の週末行事に影響するのではと考えております。また、土曜授業の中身も半日になるのか、一日になるかもまだ情報として来ておりませんが、各種行事への参加が日曜日に集中するのではないかと心配しています。そのような状況になれば、子ども達の休日の過ごし方を勘案して、いろいろな計画を立てていかなければと思っていますし、社会全体として、子ども達の週末の時間の活用を考えていかないと、皆が一生懸命子ども達にさまざまな社会経験をさせたいという願いが縮小していくのではないかと危惧しています。これから図書館でもさまざまな事業を組んでいくと思いますので、その辺を勘案していただければなと思っています。

もう1つですが、6年生の理科の授業に関わる機会があったわけですが、学校の砂場の砂を顕微鏡で見せたところ、すごく感激していました。そのような体験をさせることは、たとえば賢治作品の中に出てくる世界と自分が今目の前にしている世界を等価値で見ることができるので、賢治作品に限定しなくても、教育センターにお願いすれば作品に出てくるような世界を見せてくれますので、そのような施設の活用を考えてみてはいかがでしょうかと思っています。

(坂本 知彌会長)

すごくいい情報を頂戴しました。砂を見るなんていいことかもしれませんね。6年生の教科書に「やまなし」が載っていますが、そのような体験をすると子ども達も感激ひとしおだと思います。怖い情報もいただきました。土曜授業が復活になると、今でさえ忙しい子ども達がどうなるのかと心配になります。冷静に対処していかなければならないと考えます。どんなことが起きても対応できるよう、図書館でも十分用意をしていただければと思います。

ほかにご意見等ありませんか。

(白藤 祐三委員)

日曜日に市民ウォークに参加したんですが、全国500選に選ばれている賢治に関わりのあるウォーキングコースを歩きました。花巻では、年中賢治に関わるイベントを実施していますが、果たして親御さんや子ども達がどの程度現場を知っているか、由来を知っているか疑問に感じることがあります。ありとあらゆるところに、賢治の足跡が残っているので、活字や映像ではなく、実際の場所、由来に接する機会があればいいのではと思います。

(藤原花巻図書館長)

今の宮沢賢治のことにつきましては、ご意見として何かしら取り入れていきたいと思えます。
(坂本 知彌会長)

よそから見られると感激するようです。ぎんどう公園をボランティアで清掃してたときに、観光客が見えられて、「ここが賢治さんのいた所なんですね。」と、普段私たちが感じていない思いを感じていったようです。

(阿部 善郎委員)

花巻市には賢治に関わるものがたくさんあるので、何かしら取り入れていただくようお願いしたい。

(坂本 知彌会長)

ほかにありませんか。なければ次に移りたいと思えます。それでは説明をお願いします。

3 諮 問 花巻市立図書館資料収集方針（案）及び花巻市立図書館資料選定基準（案）について

○花巻市立図書館資料収集方針（案）及び花巻市立図書館資料選定基準（案）について、資料に基づき、改正案のポイントを交え藤原花巻図書館長から概要を説明

平成21年度に定めたものを全面的に見直しした。新しい中央図書館を見据えて、今の時代に沿った見直しを行った。収集方針のポイントとして、郷土資料の充実を図ることを盛り込んでいる。また、基本計画にもある各館の役割についても特徴付けることを明記した。

選定基準についても、基本姿勢として図書館としての役割を守ることを基に、全面的に見直しをした。一般の方にもわかり易いよう、踏み込んで分類ごと、種類ごとに詳細に纏めた。この基準を根拠にして図書の購入、選定を行っていきたい。

これら方針、基準についてはその時々に合わせてながら随時見直しを行うこととしている。

【質 疑】

(坂本 知彌会長)

ただいま説明をいただきましたが、ご質問等ありませんでしょうか。

(市川 浜委員)

収集方針の中で、資料選定の方法は選書会議をもって館長が決定するとなっているが、ちなみに現在は、どのような方法で選定を行っているのでしょうか。

(吉田業務係長)

現在は、各館の図書館で毎週来る選定案内を司書や職員を回覧して選定したり、地元の郷土資料などは見計らいとあって、実際に持ってきてもらって選定している。その後、月2回の司書会議の後に選定会議を行って、調整をしています。高額な図書につきましては、購入する館を決めたり、共通するものや全館で考えていかなければならないものは、各館の司書と相談して選定しております。

(市川 浜委員)

外部からの要望や意見等については、どのように処理されていますか。

(吉田業務係長)

リクエスト制度というものがありますので、それでリクエストを受けております。また、岩手県内外から図書館同士で本を借りることができる相互貸借制度というものもあります。

市内4館の図書館の場合は、全館で40万冊ほどあるわけですが、各館の配送が週2回各館を廻っていますので、どの図書館で借りた本でも、どこかの図書館に返却すればいいような形となっています。

(藤原花巻図書館長)

補足しますが、全体の購入予算もありますので、その辺も踏まえまして全体として購入するもの、1館で間に合せるもの等いろいろ加味しまして選定を行っています。現在、このような形で選書会議しているわけですが、もうすこし表に向かって透明性を高める意識としての選書会議というものを設置しまして、透明性の中で図書を選書、購入する姿勢を示すこととするものであります。

(坂本 知彌会長)

限られた予算をいかに有効に使うかということをご様にわかって貰うために、透明性を高めて外からも見えるという形の選書会議にするということですね。わかりました。それでは、リクエストがあって、4館どこにもなくて購入する予定がないものについてはどのようにするのでしょうか。

(吉田業務係長)

リクエストされたものが図書館にないときは、可能なものは購入しますが、購入が難しいものについては相互貸借制度を使ってほかの図書館から借りることもあります。

(坂本 知彌会長)

そうすると時間が掛かったりすることもありますよね。

(吉田業務係長)

他館の場合は、県立図書館を通して県内の図書館を廻っている配送で来ますし、他館で貸出中のものは返却後となりますので、早くても10日から2週間ぐらい掛かります。

(藤原花巻図書館長)

リクエストは、市民の皆さんからいろいろいただきますが、すべて要望に答えるのは中々難しいです。そういった意味でこのような基準を基に、一過性のものか購入すべきものか等を基準に照らし合わせて判断していくこととなります。

(坂本 知彌会長)

抛り所とするものがあるということは、心強いですね。

(藤原 くに子委員)

子ども達を見ていると、非常に映像に弱い。たとえば、ハリーポッターのようないいと思った本を薦めても、映画やテレビで見ると本を薦めても読もうとしないので、良い本を選定していると思いますが、できれば映像化されていない面白い本の情報を提供していただければと思います。また、シリーズになっているもので、継続してストーリーを追って読める本がありますが、敷居が高くて揃えることが難しいこともあるようですが、その辺についてもよろしくご検討をお願いします。

(藤原花巻図書館長)

はい、わかりました。

(佐々木 さつき委員)

選定基準のIX番の非印刷資料の中で、「幅広く資料を選定し、収集に努める。」と書いてあり

ますが、4項では「複製絵画、写真、絵葉書等は、博物館・美術館等での収集が適当と思われる場合は、資料は収集しない。」となっているのは、多分専門的なものは収集しないということではないかなと思います。この基準をちょっと見た場合収集すると言ってみたり、しないと言ってみたり誤解を招く表現になっていると感じます。

(藤原花巻図書館長)

資料の中には、宮沢賢治に関する貴重なものや市の博物館で当然資料として持っていたきたい資料は、図書館では収集しないが、そちらの施設で保管していただきたいという意味ですが、誤解を招くことがあるかもしれませんので、再度表現をわかり易くしたいと思います。

(和田 政男委員)

4項の「複製絵画、写真、絵葉書等は」を「複製絵画、写真、絵葉書等のうち」と助詞を替えればいいのではないかと思います。

(藤原花巻図書館長)

ありがとうございます。

(白藤 祐三委員)

収集方針の4(2)で、地域の特徴を生かした資料を収集するとありますが、宮沢賢治や早池峰山、神楽など有名なものもありますが、歴史的な第一次産業もしっかり継承していかなければならないと思います。たとえば、大迫のたばこづくりや、石鳥谷の酒づくり、花巻の豆腐や納豆づくりなどの生活に密着した産業を子ども達にも知ってもらいたい。資料が在っても在ることを知らないということがかなりあるのではないのでしょうか。花巻図書館の3階には郷土資料室が在る訳ですが、その存在を知らない人が多いと思うし、その中にどんな資料が入っているかも知らない人がかなり多いようですので、そのようなことを知ってもらう機会も必要ではないかと思われまます。

(藤原花巻図書館長)

ご意見ありがとうございます。いまお話がありましたとおり、3階にはある程度まとまった資料が在るわけですが、それがオープンに皆さんに目に触れる状況になっていないと思われまますので、もっとわかり易く展示や掲示、表示などを考えていきたいと思われまます。また、資料の収集も、お話のありました郷土関係、産業関係についても忘れずに収集を考えていきたいと思われまます。

(坂本 知彌会長)

新しい図書館につながっていくことですね。その他にご意見等ありませんでしょうか。前に遡ったご意見等でもかまいません。

(藤原 くに子委員)

子ども達の中には、自分の将来について考えたり語ったりすることにはすごく照れがあるけれども、世の中で起こっていることには興味を持っており、敏感に反応するので、こども読書くらぶでも何か工夫して世の中で起こっていることに結びつくようなことを行えば、中学生の参加も見込めるのではないのでしょうか。

(藤原花巻図書館長)

はい、わかりました。ありがとうございます。

(坂本 知彌会長)

子ども達の考えをいかにキャッチするか大事なことだと思います。いろいろな子ども達がいいんです。誰でも気軽に、ここへ来たら楽しいなと思うような図書館であればいいなと思います。あとご意見等ありませんか。なければ、その他に移りますがよろしいでしょうか。

(藤原花巻図書館長)

その他に移ります前に、資料方針と選定基準につきましては、本日の案に対する皆様の意見を踏まえまして、案をまとめて決裁処理を行い、成案にしたいと思います。

(坂本 知彌会長)

皆さん、よろしいでしょうか。よろしいようですので、そのようにお願いします。それではその他に移ります。何かありませんでしょうか。

(阿部 祐基委員)

土日を利用して、またいろいろな職業を活用していろいろな作品に触れる機会を作っていただき、うれしく思っております。ぜひ、これからも子ども達を巻き込んで図書の本当の良さを体験できるような活動を図書館で続けていただきたいと思います。そして、こども読書くらぶ通信を見て思うんですが、もっと宣伝してもいいと感じます。たとえば、会員以外の誰でも参加できることや会員募集をいつでもやっているようなことを行事の度に何かの形でお知らせいただければ、いろいろな場面で活動してくれるのではないかなと思います。

(白藤 祐三委員)

私も同感です。このこども読書くらぶは大変インパクトのある事業です。このような内容のものであれば親御さんも興味を持つと思います。子ども達にもっと参加してもらいたいし、ユニークな事業でもありますので、ぜひ力を入れて実施していただきたいと思います。

(坂本 知彌会長)

校長先生方の力強い応援もあるようですので、よろしくお願いします。

(市川 浜委員)

今の関係ですが、11月に行われました犬の訓練等のこども読書くらぶ事業について、テレビでも放映されましたね。かなり反響がありました。新聞でも掲載されており、非常にいい事業と思います。

もう1点ですが、前回の会議の協議事項でも話がありましたが、新しい図書館の進捗状況は今どうなっているのでしょうか。会議ごとに今の状況を報告いただければと思います。

(藤原花巻図書館長)

お話のありました花巻中央図書館の関係ですが、今の進捗状況は、まず設計をするということで取り組んでいます。建設の場所につきましては、厚生病院跡地を第1候補としていますが、県の土地でもありまして、県議会の一般質問において県の姿勢として病院の解体、整地をして花巻市に売却したいという明言をしております。県の予算の関係もあるかと思いますが、市としても取得のための予算計上が必要になってくると思われます。それから、建設に向けての設計では、花巻中央図書館とこどもの城を併せた施設ということで、その設計業者を決めるため、プロポーザル方式により企画案を提出させて、業者を選定することを今進めています。10月16日に選定委員会を立ち上げまして、業者を選定する段取りを話し合いし、11月21日には詳細な日程等や市内業者を指名することを決定しまして、市内業者へ企画書提案のための指名通知を行っております。今後、業者から参加表明書の提出をいただき、企画案の提出期限と

なっています12月25日までに各業者から企画案を提出いただいて、年を明けた1月7日に選考委員会である程度内容を確認し、各委員に1週間程度内容を吟味いただいて、1月14日に各業者からプレゼンテーションをしてもらうこととなっています。それにより、設計をお願いする業者を選定し、決定後にその業者と基本設計の委託契約を締結します。基本設計は、年度を跨ぎ6月末までとしまして、その期間の中である程度の基本設計案を市民の皆様を示しましてパブリックコメントをすることとしています。そして最終的な基本設計案を6月末までに作り上げるというスケジュールになってございます。その後は、用地も確保され、実施設計に進んでいくものと思われま

(坂本 知彌会長)

説明をいただきましたが、このことに関しては特によろしいですね。そのほかにその他に関して何かありませんでしょうか。

(藤原 くに子委員)

細かいことの提案なんですけど、こども読書くらぶの広報についてですが、各学校に移動図書館が行っていると思いますので、ポスターなどを拡大して、子ども達の目に触れるようなことを考えたほうがよろしいのではないのでしょうか。

(藤原花巻図書館長)

ありがとうございます。先ほど以来、こども読書くらぶが良い事業ということでいろいろなご意見をいただきました。今年のこれからの分、そして来年度に向けて貴重なご意見を踏まえまして事業を進めてまいりたいと思います。

(坂本 知彌会長)

発展することを願って、よろしく申し上げます。

(藤原 くに子委員)

もう一つ提案ですが、先ほどのブックスタートについて、受け取っていないお子さんがいるということでしたが、参加しないお子さんには保健師さんが訪問するということですので、協力し合って本も一緒に持参していただければ、もらえない子どももなくなり、100%本を配布できるのではないのでしょうか。

(吉田業務係長)

ブックスタートは、その意義や目的をお話しながら絵本を読んで差し上げるということですので保健師さんをお願いするのは難しいと考えていますし、私たち図書館で訪問するのは時間的に厳しいものがあります。

(佐々木 さつき委員)

私もブックスタートにボランティアで参加していますが、配布率を100%にするのであれば、一方的に送れば達成できるわけですが、やはり本を読む楽しさや親子のふれあいを親御さんに感じてほしいんです。ただ本を配るのではなく、そういったことを大切に考えていただければと思います。

(坂本 知彌会長)

今までは11か月の育児学級の時に渡していましたが、離乳食教室ですともう少し来る率が高まれば違ってくるかと思われま

(白藤 祐三委員)

先ほど藤原館長から新図書館のこれからの具体的なスケジュールをお聞きしましたが、これはオープンになっていることでしょうか。

(藤原花巻図書館長)

先ほどのプロポーザルは、すでにオープンになって業者にも指名しておりますし、スケジュール的にはこのような予定でいろいろな委員会決められたことであります。

(白藤 祐三委員)

これは、議会でも説明されているんですか。

(藤原花巻図書館長)

進捗状況を委員会等で正式に話されているかはわかりませんが、内々には大まかなスケジュールを示していますし、基本設計費などの予算も付いていますことですので。ただ基本設計が出来上がるスケジュールが遅れて年度を跨ぐこととなりますので、その辺は今後議会で繰越等の説明の際に正式にでてくると思われまます。

(阿部 善郎委員)

図書館要覧についてですが、花巻市立図書館として運営方針に基づいて実施している訳ですが、4館の一体感が感じられないので要望ですが、4館の一体感を出すために位置図のようなものを載せていただければと思います。

(藤原花巻図書館長)

ご意見に留意して、来年度の要覧を作成してまいりたいと思います。

(坂本 知彌会長)

ほかにはございませんでしょうか。それではその他のほうも出尽くしたようですので、事務局のほうにお返しします。

(佐藤花巻図書館副館長)

大変貴重なご意見等をいただき、ありがとうございます。今後の図書館の事業に反映できるような形で進めてまいりたいと思います。

事務局からはその他は特にございませんが、全体的に何かございましたらお願いしますが、ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、長時間大変ご苦勞様でした。以上を持ちまして平成25年度第2回花巻市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございます。